

安倍の菅——アベノコピー政権

安倍前首相が自らの病気を理由に安倍政権に終止符を打った。私たちは長年、安倍政権打倒を掲げてきたから、目標は達せられたと言えるのだが……。

任期途中で辞めざるを得なかったのは、国民に「森友・加計学園問題」、「桜を見る会」の私物化疑惑、カジノ汚職疑惑、河合元法相夫妻の公職選挙法違反容疑、安倍内閣に関わる疑惑・不祥事などへの説明責任が果たせなくなっていたことや新型コロナ対応のまずさを批判されたこと、つまりは、安倍政治の行き詰まりから、追い詰められたからだと言える。

ところが、菅政権は、自己責任を押し付け、社会保障などは削り、国民を苦しめている新自由主義の政治、安倍政治をほぼ引き継ぐという。“アベノコピー政権、だ。閣僚も安倍政権と変わり映えがしない。それもそのはずで、菅さんは長い間、安倍政権の官房長官だったのだからうなずける。それにしても、自分のカラーが全く出ていない首相も珍しいように思うが、やる気は前面に出ているようだ。そして、田中角栄元首相のように「苦勞人」ということをアピールしている。

さて、安倍政治を引き継ぐということは、安倍前首相の影響が残り、院政が敷かれるということなのだろうか。

憲法と法律をないがしろにし続けた安倍政権

そこで、安倍政権の7年8カ月を振り返ってみる。

安倍政権は、立憲主義や法律を無視した悪政の連続だった。憲法と法律をこれほどないがしろにした政権は戦後なかった。

2012年の政権復帰以来、秘密保護法や安保法制(=戦争法)の強行など、立憲主義破壊を繰り返してきた。

民意を無視して沖縄辺野古新基地建設を強行した。隣国の脅威をあおって、軍事費を増やし続けてきた。「森友・加計学園」、「桜を見る会」などの疑惑と国政を私物化した大問題があるが、未だ真相が解明されず、説明責任も果たしていない。

7年8カ月の安倍政権では、「政治とカネ」の問題などで閣僚の辞任が相次いだ。辞任のたびに安倍前首相は「任命責任」を口にすることで、自ら責任を取らなかった。

経済では、「アベノミクス」の失敗で、労働者の実質賃金が下がり、貧困と格差を拡大させた一方、大企業の内部留保を増やし、株価維持などで富裕層を潤わせた。2度にわたる消費税増税で消費を冷え込ませ、日本経済に打撃を与えた。

そこで、今の安倍前首相の胸中に分け入ってみよう。

任期途中で辞めると決断したのは、持病が悪くなったのもあるが、それは、薬で治療していけば、これからも首相の仕事はやっていけるので、それが本当の理由ではない。戦後最長の首相在位日数を記録し、歴史に残ることになったからだ。何せ、私の首相在位期間は長いけど、歴史に残るような業績は全くなかったからね。それと、未だに、「森友・加計学園問題」や「桜を見る会」などが追及されているから、これ以上、追及されるのは嫌だったね。かといって、夜、眠れないということはほとんどなかったね。さらにいえば、黒川前東京高検検事長を検事総長にできなかったことで、自分の身が危ういと感じたからだ。志半ばで職を去ることは断腸の思いで、改憲が実現できなかったことは、非常に悔しい。菅政権では、私の影響力を行使し

て、改憲を進めたいと思う。」――。

安倍前首相は、感情が表に出る人だったので、以上のような感じではなかっただろうか。

さて、安倍政権を漠として評価する声が多いことに驚ろかされる。病気で辞める人や死んで行く人には塩を送らないという日本人気質があるのだろうか。政権が変わったとたんに、多くの疑惑に目をつぶるように。また、マスコミの安倍政治批判がほとんどなかったせいも大いにあると思う。

さてさて、永田町は、新型コロナ感染拡大の最中で選挙どころではないはずなのだが、菅新内閣の支持率の高いときに選挙をやってしまうという魂胆が見えて、年内、解散・総選挙で動いているようだ。菅首相も早い段階で総選挙を仕掛けて、本格政権を作りたいと思っているようだ。つまり、来年までのワンポイントリリーフではないということを強くアピールしている。

我々の希望は、野党共闘で少なくとも与野党伯仲に持ち込み、菅政権の安倍政治継承を断念させることではないだろうか。これからがんばりどころである。

(千代田区労協議長 小林秀治)

*千代田区労協通信バックナンバー／http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2020.htm

※皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。

それでも私たちは諦めない！ 戦争法強行5周年抗議行動

9月19日戦争法強行採決から5年を迎え、国会正門前を中心にあくまで同法の廃止を求める抗議が展開されました。参加者は3500人となり、コロナ禍以降、最大規模となりました。安倍政権を継承すると言ってはばからない菅政権を追い詰める必要があります。解散・総選挙の情報が飛び交っています。野党共闘で自公政治を終わらせたいものです。以下、国会前行動の写真集です。

